

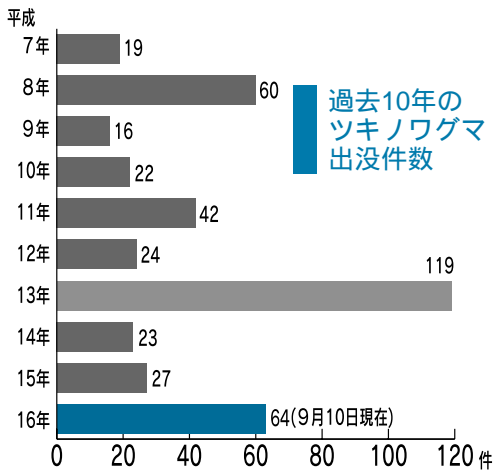
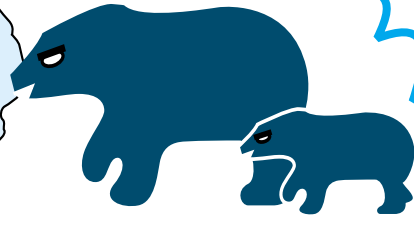


# クマだ!!

## 出沒多発 注意報!

### 出沒件数は 今年の2倍以上

クマ、タヌキ、アナグマ、カラスなどの鳥獣による農作物などへの被害がありました。特に大型獣類であるツキノワグマによる被害は著しく、最近の傾向として市街地近郊にも出沒するようになっていきます。



今年九月上旬まで市内でのクマ出沒件数は六十四件で、昨年の倍以上。その被害は、りんごなどの果樹、米ぬか、水稲、にわとりなど多種にわたり、人に危害を加えた事故も二件あります。

出沒地域は、上新城、太平、山内、仁別地区のほか、市街地近郊の外旭川、添川、手形山地区でも目撃されています。遭遇の仕方、山菜採りに入った山中だけでなく、自転車で農道沿いを帰宅中だったり、住宅街に近い森を散策中だったり、まさに“不意”の場

クマに押しつぶされた稲。畦に近いところから食べられています。



クマのフンには米殻が...



面が報告されています。

さらに今年は、八月から九月にかけて続けて通過した台風の影響で、山の木の実の不作が懸念されています。そのため、里山の木の実や農作物を狙って、さらにクマが市街地近郊に出沒する可能性もあります。

### 不意の遭遇を 避けるために

なぜ今年、クマが頻繁に出沒するようになったのか、はっきりした原因はまだ明らかではありません。その背景には、キャンプや行楽などに出かけた先で捨てた残飯をクマがあさるうち、その味を覚え、慣れてしまい、食べ物求めて人里まで取りに来るようになる

# “常陸の森”で植樹しよう!



とき / 10月23日(土)午後1時30分～  
ところ / 浜田梅林園奥の山林

秋田市建都400年を記念して、茨城県常陸太田市など、佐竹氏とゆかりのある市町村との友好の絆を深めるため、「常陸の森」と名付けた土地に、市民のみなさんの手で未来へ残す記念植樹をしませんか。

参加無料。先着100人。参加者にはプレゼントがあります。当日は、汚れてもよい服装、ズック、雨具、長靴などでご参加ください。

## 申し込み

9月29日(水)から10月6日(水)まで林務課へ電話でお申し込みください。tel(866)2117

## 当日の送迎バスの集合場所

当日は、送迎バスを運行します。次の時間に希望の場所でお待ちください。なお、会場周辺は混雑が予想されますので、自家用車のご利用はなるべくご遠慮ください。

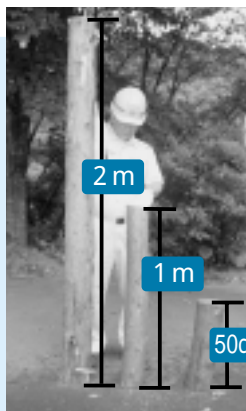
市役所分館前12:40 新屋支所前12:55

梅林園管理棟前13:05 植樹会場へ

帰りは植樹会場を15:00に出発予定です。

## スギ丸太(間伐材)をプレゼントします

市内産のスギ丸太をプレゼントします。ガーデニングや日用大工の材料としてご利用ください。引き渡しは10月24日(日)午前10時～午後3時に、秋田市都市建設公社駐車場(詳しい場所は返信はがきに記載)で行います。



### 条件

市内にお住まいで、車などを使って安全に自己運搬できるかた(重さ約12kg/m)。ただし、販売目的のかたはお断りします

### サイズ

太さ10～20cm。皮付き。長さは50cm、1m、2mの3種類(右上写真)。1世帯5本まで。なお、長さ2mの丸太を希望の場合、軽乗用車では運搬できませんのでご了承ください(軽トラックは可)

### 申し込み

往復はがきで、往信用には「間伐材申込書」と明記し、住所、氏名、電話番号、必要なサイズと本数、丸太の用途を、返信用には住所、氏名を書いて、10月8日(金)(消印有効)まで、〒010-8560秋田市山王一丁目1-1 秋田市林務課。なお、応募多数の場合、希望本数が交付されないことがあります

問い合わせ 林務課tel(866)2117

## クマ目撃！その後...



市内でクマが目撃されると、発見者または警察署から秋田市に通報が寄せられます。そして、県の許可を得たのち地元の猟友会に行動をお願いしています。また、頻繁にクマが出没する場所には、鉄でできた箱ワナを設置して捕獲したりもしています。

## 箱ワナ捕獲ドキュメント

7月26日早朝、山内の民家付近に設置した箱ワナにツキノワグマ1頭がかかりました。同地区は、昨年も川原のスモモの木などを狙ってクマが頻繁に出没していました。

捕獲したクマは、受入施設がないことや人身被害の危険性が高いことから、県に相談のうえ処分しました。

クマはオスの成獣で推定6歳、体長141cm、体重100kg。胃の内容物を調べると、リンゴ、モモ、ミズなどを食べていたようです。なお、箱ワナによる捕獲は今年に入って10頭目です。

つたという、私たち人間のマナーにかかわる要因もあると考えられます。また、これからの季節は、きのこ狩りや行楽で山に出かける機会が増え、クマの生活圏に足を踏み入れることが多くなります。本来クマにとつて人間は怖い生き物だったはず。初めから人を傷つけようというクマはまずいないでしょう。できればお互いに遭遇したくない相手なわけです。私たち人間も、まずは自分たちの身を守るために、次のことに注意して出かけるよう心がけましょう。

山に入る場合は、鈴・笛・ラジオなどで音を出しながら入る人数はできるだけ複数で行動すること  
残飯などのごみは残さずに持ち帰るようにならしてください  
子グマのそばには母グマが必ずいます。子グマを発見したときは、直ちにその場から立ち去ってください

クマにつくことの通報・問い合わせ

林務課 ☎(866)2117